



事前合宿スタート

7月24日、ホワイトキューブに到着したベラルーシ新体操ナショナルチームを山田市長やホストタウン親善大使のマカロワさん、セベツェさん、キューブ新体操教室の生徒たちが歓迎。会場には、市内の小中学生が制作した応援メッセージボードが掲示されました。



伝統文化体験

7月30日、同チームは、碧水園で茶道と日本舞踊を体験し、日本の伝統文化や作法に触れました。



ベラルーシ共和国 新体操ナショナルチーム公開演技会

ホワイトキューブで1,300人の観衆を魅了!

7月28日、ホワイトキューブで、ベラルーシ共和国新体操ナショナルチームによる「公開演技会」が行われました。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた事前合宿「SAKURA CAMP 2019」の一環。演技会では、同国選手が個人演技や団体演技を披露。ホワイトキューブ新体操教室や高校総体宮城県代表、仙台大学女子新体操競技部の選手たちも出演し、演技会に花を添えました。会場には市民など約1,300人が来場。6月に開催された第2回ヨーロッパ・ムンスク大会で、チャンピオンに輝いた世界トップレベルの華麗な演技を堪能していました。この日は、渡辺博道復興大臣が演技会を視察し「ホストタウンの取り組みを通じて被災地の力と魅力を発信し、交流を促進してほしい」とあいさつしました。事前合宿は、7月24日から8月3日までの期間行われ、本市では、練習会や伝統文化体験などを行いました。同チームは今後、オリンピックへの出場権をかけ、9月にアゼルバイジャンのバクーで行われる世界新体操選手権大会に出場します。



1_意見交換会でベラルーシ選手団と懇談する渡辺大臣(右から2人目) 2_「感動を与えたい」とあいさつするイリーナ・レバルスカヤヘッドコーチ(右) 3_6_エキシビジョンによる特別演技も披露されました 4_キューブ新体操教室の生徒からナショナルチームへ花束を贈呈 5_サクラファンクラブ会員と記念撮影

